

高齢者のための交通安全ポイント

交通事故で亡くなる方の約半数が高齢者です。

事故に遭わない、起こさないために以下のことを守りましょう！

歩行者が実践する5つのポイント



ポイント① 横断歩道を利用しましょう

- 横断歩道以外の場所での横断は非常に危険！
- 遠回りでも横断歩道を利用しましょう

ポイント② 信号を守りましょう

- 無理に横断せず次の青信号を待ちましょう
- 青色信号が点滅したら横断を始めてはいけません

ポイント③ 左右の安全をよく確認しましょう

- 止まって左右の安全を確認してから道路を渡りましょう

ポイント④ 斜め横断はやめましょう

- 車は思っているよりもずっと速く接近してきます
- 斜め横断は車道にいる時間が長くなり危険です

ポイント⑤ 明るい色の服や反射材を着用しましょう

- 車の運転手に早く気付いてもらえるよう明るい色の服や反射材を着用しましょう

運転者が実践する7つのポイント

ポイント① 安全性の高い自動車を利用しましょう

- 自動ブレーキなどが装備された車（サポカー）への乗り換えを検討してみましょう

ポイント② 身体機能の変化に応じた運転をしましょう

- 自身の運転技能や身体機能の変化を知って、無理のない運転をしましょう

ポイント③ 十分な車間距離をとりましょう

- 車間距離を十分にとり、余裕のある運転をしましょう
- 特に雨や雪の時は要注意！

ポイント④ 安全な速度で走行しましょう

- 速度が上がる程視野が狭くなり、周囲の状況が把握しにくくなります

ポイント⑤ 一時停止場所では確実に停止しましょう

- 確実に止まってしっかりと安全確認しましょう

ポイント⑥ 右左折時は対向車や左後方等に注意しましょう

- 安全確認は、不足することはあっても、しすぎることはありません
- 無理せず余裕を持って曲がりましょう



ポイント⑦ シートベルトは正しく着用しましょう

- 運転席、助手席はもちろん、後部座席に乗るときも着用しましょう